

令和4年度

第68回北海道高等学校弓道選手権大会

兼 第67回全国高等学校弓道選手権大会北海道予選会

実 施 要 項



当番校 北海道苫小牧東高等学校

第68回北海道高等学校弓道選手権大会

兼 第67回全国高等学校弓道選手権大会北海道予選会 実施要項

主 催 北海道高等学校体育連盟 北海道教育委員会 北海道弓道連盟

後 援 伊達市 伊達市教育委員会 伊達市スポーツ協会

主 管 北海道高等学校体育連盟弓道専門部 北海道高等学校体育連盟室蘭支部
北海道弓道連盟南部地区 伊達地区弓道連盟

当 番 校 北海道苫小牧東高等学校
(〒053-8555 苫小牧市清水町2丁目12-20 Tel 0144-33-4141 Fax 0144-33-4143)

1 期 日 令和4年6月15日(水)・16日(木)・17日(金)

15日(水) 8:30～9:00 集合・審判打合せ(伊達市総合体育館 審判席前)
8:30～ 受付(総合体育館 メインアリーナ正面入口)
9:15～10:45 専門委員会(伊達市総合体育館 会議室)
12:30～13:00 監督会議(伊達市総合体育館 メインアリーナ)
13:00～13:15 開会式(優勝杯返還)
14:00～15:15 競技(個人戦 男子1立目、女子1立目)……立射
15:15～16:30 競技(個人戦 男子2立目、女子2立目)……立射

16日(木) 8:10～ 集合・審判打合せ(伊達市総合体育館 審判席前)
8:30～ 受付(伊達市総合体育館 メインアリーナ正面入口)
9:00～9:40 競技(男子個人戦 準決勝・決勝)……坐射
9:40～10:20 競技(女子個人戦 準決勝・決勝)……坐射
10:20～10:40 個人競技表彰式(伊達市総合体育館 メインアリーナ)
10:50～14:20 競技(団体戦 男子1立目、女子1立目)……立射
14:20～17:50 競技(団体戦 男子2立目、女子2立目)……立射
17:50～18:30 競射(同中の場合 男子→女子)……立射

17日(金) 8:10～ 集合・審判打合せ(伊達市総合体育館 会議室)
9:00～10:30 競技(男女団体戦 2次予選)……坐射
10:40～11:00 競射(同中の場合)……坐射
11:00～12:20 競技(男女団体戦 決勝トーナメント1回戦)……坐射
12:20～13:00 競技(男女団体戦 決勝トーナメント準決勝)……坐射
13:10～13:30 競技(男女団体戦 決勝トーナメント準決勝)……坐射
13:40～14:00 団体競技表彰式(伊達市総合体育館 メインアリーナ)

2 会 場 伊達市総合体育館(〒052-0012 伊達市松ヶ枝町34-1 TEL:0142-23-8600)

3 競技種目

競技の種目、種別および規格は、以下のとおりとする。

- (1) 種 目 近的競技
- (2) 種 別 男子の部・女子の部
- (3) 種 類 団体競技・個人競技
- (4) 標 的 木枠の直径36cm霞的・直径24cm星的を使用する。
- (5) 競技場 団体戦2射場10人立(的の間隔は1.8m)、個人戦予選3射場9人立(間隔は1.8m)
個人戦準決勝・決勝3射場9人立(間隔は1.8m)とする。射距離は28mとする。

4 競技規則 (公財) 全国高等学校体育連盟弓道競技規則及び全国高等学校弓道大会競技運営細則、北海道高等学校弓道大会競技規則による。

5 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
- (2) 選手は、北海道高等学校体育連盟に加盟する高校の生徒で、北海道高等学校体育連盟弓道専門部を通して(公財)全国高等学校体育連盟弓道専門部に登録している生徒であること。
- (3) 年齢は、平成15年(2003)年4月2日以降に生まれたものとする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) 各支部において全道大会参加の資格を得たもの。
- (5) チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒の混成は認めない。
- (6) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (7) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、支部長の許可があればこの限りではない。
- (8) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。
- (9) 参加資格の特例
 - ア 上記(1)に定める生徒以外で、(2)～(7)の大会参加資格を満たした生徒を、別途に定める規定に従い参加を認める。
 - イ (3)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。なお、高等専門学校については、第3学年までの19歳未満の者に限る。

[大会参加資格の別途規程]

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 北海道高等学校体育連盟校以外の学校に在籍し、全道高等学校体育大会に参加を認められた生徒であること。2 以下の条件を具備すること。<ol style="list-style-type: none">(1) 大会参加資格を認める条件<ol style="list-style-type: none">ア 北海道高等学校体育連盟の目的および永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。イ 参加を希望する学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。ウ 各学校にあっては、支部の予選会から出場が認められ、全道大会への出場条件が満たされていること。エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。(2) 大会参加に際し守るべき条件<ol style="list-style-type: none">ア 全道高校体育大会参加生徒の指導基準および全道高校体育大会参加心得を遵守し、競技種目開催要項および申し合わせ事項等に従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万全の事故対策を講じておくこと。 |
|--|

6 引率・監督

- (1) 引率責任者は当該校の教員で、監督は学校長の認めた教職員とする。ただし、監督については種目の特殊性を考慮し、申出により別途協議する。なお、引率責任者と監督が同一者の場合は教員とする。
校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の二に示された者)も可とする。
- (2) 今大会については無観客での開催となっていることもあり、監督、選手、介添生徒に加え、上記部活動指導員についても参加申込用紙に記入し、それぞれにIDを発行する。新型コロナウイルス感染防止の観点からIDを持たない者については大会会場への入場を禁止する。

7 チーム編成等

- (1) 団体の部は、選手5名・補欠2名以内・監督1名・介添生徒1名とする。
(但し、本大会は選手3名以上をもって団体として認める。)

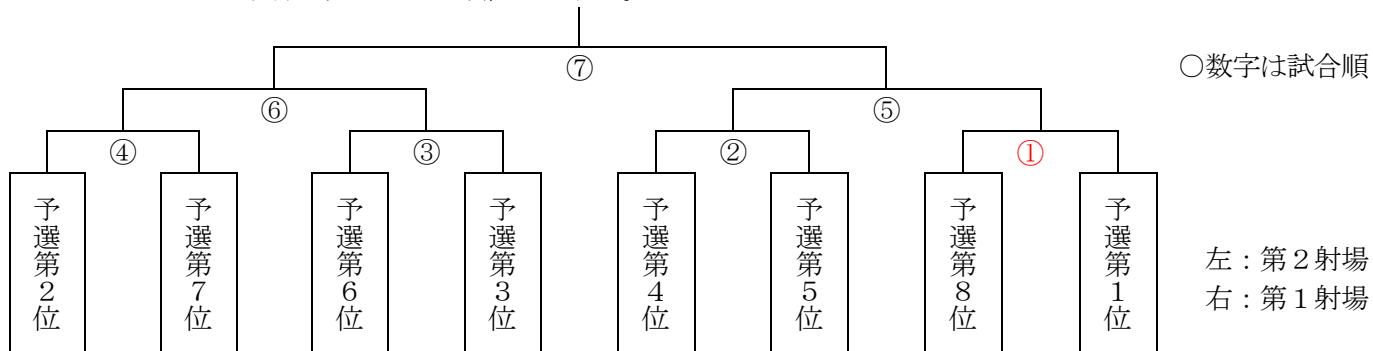
- (2) 個人の部は、選手1名・監督1名・介添生徒1名とする。
- (3) 課程（全日制・定時制・通信制）ごとの生徒によるチームであること。
- (4) 団体の部の各支部参加可能数については別紙【参加基準①】のとおりとする。
 なお今年度、前年度（令和3年度）優勝校枠は、女子一旭川支部、男子一オホーツク支部に
 当番学校支部枠は、室蘭支部に男女1チームずつ与える。
- (5) 個人の部の各支部参加可能数については別紙【参加基準②】のとおりとする。

8 競技方法

- (1) 団体競技および個人競技は、今年度、男子→女子の順番で行う。

ア 団体競技

- (ア) 1次予選は参加申込書の登録順に5名が出場し、各自8射、計40射を行う。的中数上位より12チームを通過とする。予選通過決定競射の場合は、各自1射の競射を行う。
- (イ) 2次予選は予選立順の早いチームから、各自4射、計20射を行い、1次予選の的中数と合わせ、合計60射の総的中数上位8チームが決勝に進出する。予選通過決定競射の場合は、各自1射の競射を行う。
- (ウ) 決勝は、予選順位によって（1位―8位、2位―7位、3位―6位、4位―5位）と組み合わせトーナメント方式により、一人4射、計20射を行う。同中の場合は一人1射ずつの競射を行い、勝敗を決定する。対戦組み合わせは、予選順位により下記トーナメント表に従う。8位までに同中があった場合は抽選により順位を決する。



イ 個人競技

- (ア) 予選は各自8射を行い、5中以上の的中をもって通過とする。
- (イ) 準決勝は予選通過者により、各自4射を行い、3中以上の的中をもって通過とする。決勝進出者が6名に満たないときには、2中者または1中者で遠近競射を行い、それ以下の順位を決定する。
- (ウ) 決勝の射詰競射は、9人以下となった時点で持的とする。
- (エ) 決勝戦は、射詰競射により上位から順位を決定する。9射目より24cm星的を使用する。的替えのため、8射終了後選手を一旦退場させ、立順を詰めて持ち前で競技を継続する。的中を失した場合、最上位者及び全国大会出場者を決定する場合に限り射詰競射とし、その他は遠近競射による。

(2) 競技時間の制限

- ア 競技時間は、本座において進行係の合図により始まり、最後の射手の最後の離れで終わる。
- イ 競技は個人戦の予選および団体戦の1次予選は立射とする。また、個人戦の準決勝以降および団体戦の2次予選以降は坐射とする。1団体20射の行射制限時間を立射は7分以内、坐射は8分以内とし、立射は6分30秒、坐射は7分30秒で予鈴の合図をする。
- ウ 弦切れ、その他の事故が生じても時間の延長は認めない。ただし、審判委員の指示により競技が停止した時間は制限時間から除外する。追い越し発射は認めない。
- エ 個人競技および順位決定戦等の時間制限のない場合は、「弦音打起し」の競技の間合いを原則とする。

(3) 招集

- ア 第3控において選手・監督の確認及びゼッケン、服装の確認をし、第2控において弓具の点検をする。
- イ 第3控から第2控へ移動する際にいない選手は「その立」に限り失権とする。そのために団体に欠員が生じても欠員のまま団体とする。

ウ 監督については6で定めたものとする。

(4) 選手の交代

- ア 団体選手の交代は、申込書に記載した登録選手以外は認めない。
- イ 団体競技の先発メンバーは登録順の5名とし、選手の交代は3回まで認める。従って、交代した選手の再出場はできる。ただし、点呼場所に入るまでに交代受付へ届けること。
- ウ 交代は監督会議の際から受け付ける。ただし、2次予選および決勝トーナメント進出校決定のための中競技においては交代を認めない。
- エ 選手交代届は所定の用紙に記入し、監督が交代受付に届けること。
- オ 交代をした後、選手に事故が生じて欠場する場合は、欠員のまま団体とする。
- カ 個人競技の選手の交代は認めない。
- キ 交代は1回につき補欠1名の場合は1名、補欠2名の場合は2名以内とする。

(5) その他

- ア 取り矢・坐射ができない選手は、所定の用紙で事前に届け出て許可を得ること。
- イ 各自替矢を持参すること。
- ウ 矢返しは四つ矢が終わるごとに行い、1本ごとの矢返しは認めない。
- エ 替矢を持たずに同中競技および射詰競技に入った場合、5本目に替矢がない場合は失権とする。

9 参加料

- (1) 大会参加料は、エントリー選手一人1, 500円とする。(同一選手が団体戦と個人戦の両方にエントリーしている場合は一方の分だけで良い。)

(2) 納入方法

下記の口座に振込とする。(振込依頼人名に学校名を入れてくださるようお願い申し上げます。その際、道立高校の場合は「ホッカイドウ」を省いて下さい 例：トマコマイヒガシコウコウ)

参加料振込先 北洋銀行 苫小牧北支店 (店番号022) 普通預金 口座番号 0533398
口座名 北海道苫小牧東高等学校当番校 代表 南 俊明

10 参加申込

- (1) 申込方法 (プログラム作成の都合上、必ず以下のようになしてください)

※期日厳守をお願いします。また、申込後の登録選手の変更は理由の如何を問わず認めません。

ア 参加選手および参加料の明細を、所定の申込用紙に記入して、

- ① メール送信での申し込みをお願いします。送信の件名は下記を参照のこと。

「参加申込書(〇〇高校)」

- ② 職印を押した申込書(立射の選手がいる場合は申請書も)を郵送すること。

ただし、メールの内容と記載内容が同じものであること。

イ 坐射や取り矢ができない場合

- ① 坐射や取り矢ができない場合は、参加申込書の備考欄にその旨を記入するとともに、「立射等の申請書」を添えて提出すること。申込み後に怪我などをした場合も速やかに申請すること。

- ② 必ず事前に書類を提出すること。監督会議当日の口頭による申し込みは受け付けない。ただし、申込締切後にケガ等が発生した場合には監督会議前に書面で連絡すること。

※個人情報の取り扱いに関して

大会参加に関して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。(詳しくは、実施要領の「個人情報保護および肖像権に関わる取り扱いについて」を参照してください。)

- (2) 申込先・参加料振込先 メール送信および郵送をお願いいたします。

- ① メールアドレス bell0910.66@hokkaido-c.ed.jp

申込書ファイル等のダウンロードは「高校公式ホームページ」より行ってください。

URL <http://www.tomahigashi.hokkaido-c.ed.jp/>

郵送先 北海道苫小牧東高等学校

② 〒053-8555 苫小牧市清水町町2丁目12-20 Tel 0144-33-4141 Fax 0144-33-4143
北海道苫小牧東高等学校 全道弓道大会事務局宛（担当：鈴木 圭子）

(3) 申込期日

① メール送信（申込書） 令和4年6月1日（水）期日厳守

② 職印を押した申込書・立射等の申請書の郵送と参加料の振込
（大会当日に持参しないでください） 令和4年6月3日（金）期日厳守

1 1 宿泊・弁当について

別紙にて宿泊・弁当の案内をしています。ご希望の学校は取扱業者（近畿日本ツーリスト）に6月1日（水）までに申込んでください。大会の開催が遅い支部は、代表が決定次第早急に申し込んでください。

1 2 表彰

(1) 表彰

ア 団体の部は、男女とも3位まで。（3位は2校）

イ 個人の部は、男女とも6位まで。

ウ 射道優秀賞（決勝トーナメント進出校を対象とする）

エ 皆中賞（団体の部・個人の部出場者中、第1次予選より連続8射皆中した者。ただし、両者を兼ねる場合は個人の部の成績を対象とする）

(2) 全国大会出場権

団体の部は、男女優勝校。ただし棄権が明確の場合、2位校とする。（ただし選手は5～6名とする。）
個人の部は、男女2位までの者。ただしその中で棄権が明確になった場合、3位の者とする。

1 3 競技上の諸注意

(1) 弓具

ア 選手は全国高等学校体育連盟弓道競技規則第13条に定められた弓具を使用すること。

イ 押手掛け（指押手を含む）以外の補助具は原則として認めない。

ウ 弾の紐は危険防止のため小さく結び、止め具の使用は禁止する。

エ 弓具に照準・目印をつけてはならない。

オ 伝統的な押手補助具や傷部保護のための包帯、テーピングを除き、押手にはその他のものをつけてはならない。

＊伝統的な押手補助具としては、押手弾（拇指、人差指の2本指と拇指のみの1本指）がある。

＊キネシオテープについては、テーピングとみなし使用を認める。

＊サポーターの使用は肘のみ認める。色は、白・黒・紺・ベージュとする。

＊手首のサポーターやテーピングの使用は禁止する。

(2) 服装

●選手

ア 弓道衣は白、袴は黒または紺の無地とし、白足袋を着用する。

イ 弓道衣のアンダーシャツは白・黒・紺の無地のものとし、襟付き・ハイネックは不可とする。

ウ 弓道衣に校名・校章および都道府県のシンボルマークを入れる場合は、片袖に限る。ただし、大きさは、縦横10cm以内にする。

エ 鉢巻を使用する場合は、無地で長さは肩までとする。また、校名・校章・氏名に限り入れても良いが場所は鉢巻の端とする。

オ 胸当ては無地とし、校名・校章・その他を入れてはならない。男子の胸当ての使用は認めないが、弓道衣の下に装着する事は咎めない。

カ リボン・ピアス等の装身具類は着用しない。

キ 選手は競技中および行射中、原則マスクを着用するものとする。

●監督

ア 監督は監督章を首から下げる。

イ 射場内での服装は、品位を保ち、短パン、ミニスカートの類は着用しない。

ウ 射場内での素足は厳禁とし、靴下等を着用する。

(3) ゼッケン

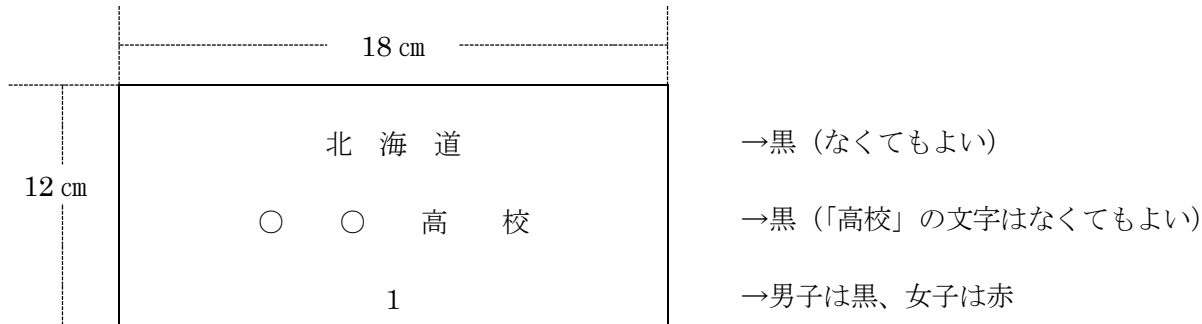
- ・選手は次によりゼッケンを着用する。

ア プログラムに登録された番号を表示したゼッケンを右腰前に付ける。ただし、ゼッケンの左端が体の中央になるようにする。

イ 選手の交代によりゼッケンを替えてはならない。

ウ ゼッケンの記載は横 18 cm、縦 12 cm の白の布または紙を使用する。(ゼッケンをケースに入れることは可)「北海道」学校名および男子の選手番号は黒、女子の選手番号は赤で記入する。

エ ゼッケンを B6 版のクリアケースに入れることも可とする



(4) 控室の壁・柱などを使用した弓張りは禁止とする。

(5) 観覧席からのフラッシュ撮影は禁止する。

(6) 応援は、皆中時の拍手のみとする。

(7) 常に静粛な環境を維持するように相互に協力してください。

※その他、必要事項は、「必携」(全国高等学校体育連盟弓道専門部、2019年発行)の14ページを参照すること。また大会時には「必携」を持参すること。

1.4 公式練習について

会場練習の時間について

- ・伊達市総合体育館 メインアリーナ 14日(火)14時～17時 15日(水)9時～12時

※順番待ち呼び出しアプリを利用し整理券を発行します。別紙の指示に従ってください。

巻藁練習会場の時間について

- ・伊達市総合体育館 サブアリーナ

14日(火)14時～17時 15日(水)9時～16時30分 16日(木)9時～18時

17日(金)9時～13時

※本大会は持ち込みの巻藁を置くスペースはありません。

※選手は試合用の服装で必ずゼッケンをつけて練習をすること。お互いに節度を守ること。

※練習の際は、必ず監督などの責任のある方が射場内につき、危険防止に留意すること。

※上記の時間以外に、伊達市総合体育館で練習することはできません。

その他の練習場について

- ・室蘭市弓道場 拓心館 (〒050-0073 室蘭市宮の森町1丁目1番2号)

14日(火)12時～16時 18時～20時30分 15日(水)8時30分～12時 16時～20時30分

16日(木)18時～20時30分

利用料金 選手一人1回につき100円 連絡先 海星学院高校：宇都宮浩史(080-4045-3778)

- ・コロナウイルス感染症の感染状況により、弓道場のある周辺校への練習の依頼はお受けできない場合がありますのでご了承ください。

1.5 大会会場について

- ・大会会場は、JR伊達紋別駅より約2km、徒歩25分、バス利用20分

伊達紋別駅から道南バスを利用して「カルチャーセンターあけぼの前」下車、徒歩3分

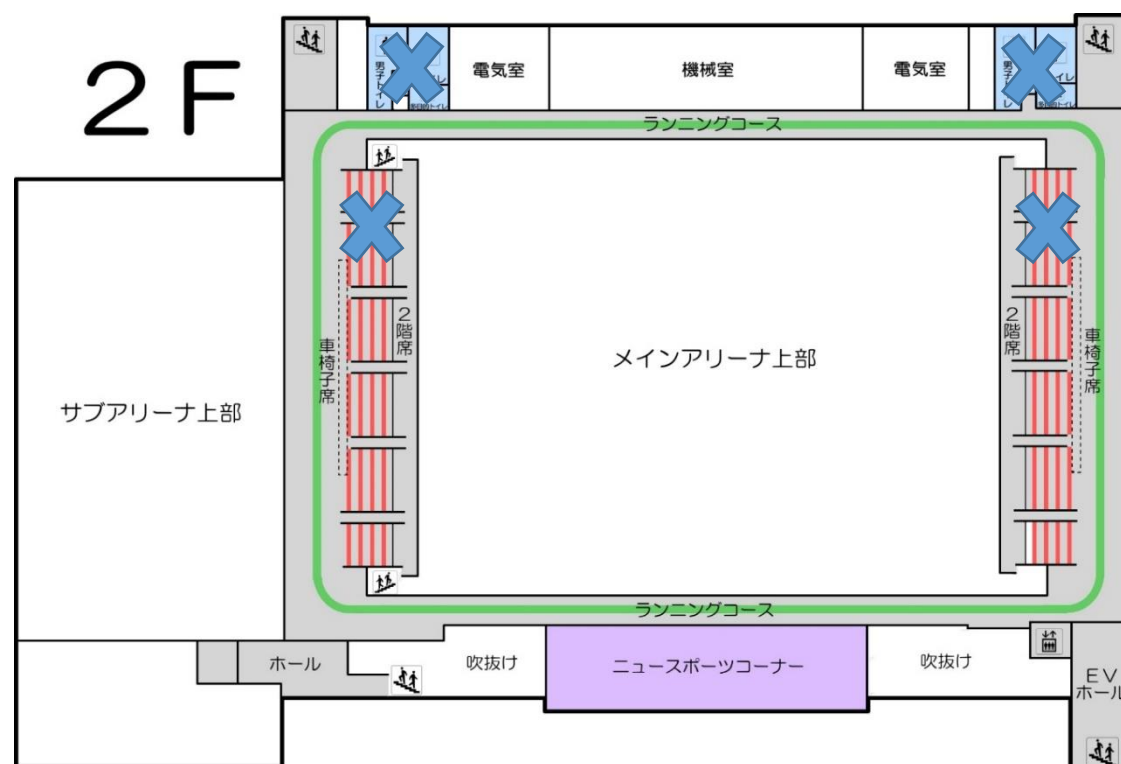
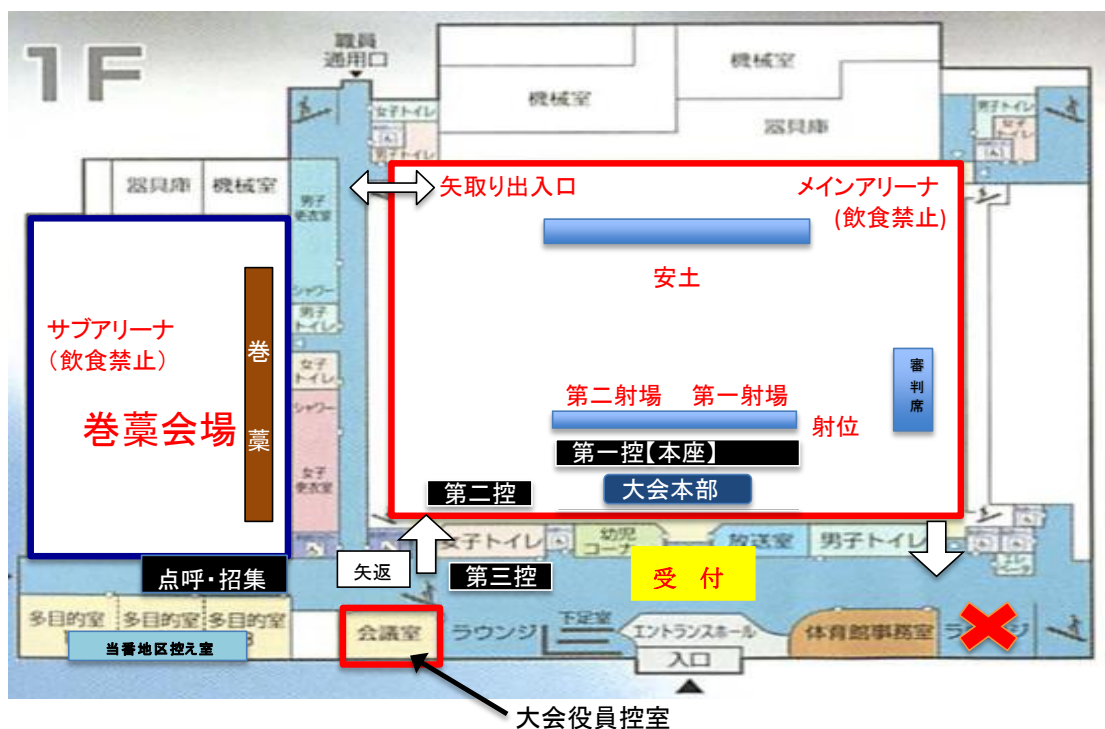
1.6 その他

- ・伊達市総合体育館に入場される際には検温、手指の消毒とマスクの着用をお願いいたします。

- ・本大会に参加される選手、監督（予め登録した外部指導者を含む）、介添の皆さんには規定による検温、健康チェックをお願いいたします。様式につきましては当番校 HP をご覧ください。
- ・本大会は無観客で行われます、事前に発行された ID をお持ちの方以外は入場できません。
- ・連絡問い合わせ先 第68回北海道高等学校弓道競技選手権大会当番校事務局
北海道苫小牧東高等学校 鈴木 圭子（0144-33-4141 学校代表）

1 7 会場図ならびに会場周辺図（駐車場図）

会場図



伊達市総合体育館 臨時駐車場のご案内

伊達IC→

こちらが一般車両臨時駐車場です

食育センター

ゲートボール場

図書館

西広場 (臨時駐車場)

正面玄関入口ロータリー 駐車!禁止

総合体育館

プール

公園管理事務所

カルチャーセンター

控え室

旧三戸部家

開拓記念館

迎賓館

多目的広場

宮尾登美子文学記念館

ミュージアム

牧家・びっくりドンキー

観光物産館

大手門

←洞爺湖町

一般国道37号

室蘭市→

サブアリーナ側の駐車場1列はトレ室・プールのお客様専用となっております。停めないようお願いいたします。

18 会場の使用についての補足事項

- ・大会会場はメインアリーナ、巻藁練習場はサブアリーナとする。(いずれも一階)
- ・選手控室は、2階観覧席(全日)、および、隣接するカルチャーセンターの講堂(17日を除く)を使用する。なお、巻藁会場の所定の場所に弓具を一時的に置くことは可とする。
- ・飲食可能な場所はメインアリーナ2階観客席、1階ホールの自動販売機前など定められた場所、およびカルチャーセンター講堂とする。
- ・受付はメインアリーナ正面入口前で行う。選手及び監督等IDを発行されている者以外は入場できない。(メインアリーナの正面入口は閉鎖し、入退場に使用しない。)
- ・試合会場(メインアリーナ)は入退場口を別とする。(表示あり)
- ・手指消毒用のアルコールを会場入口と控室に設置する。
- ・2階観覧席の安土側および隣接する区域は立ち入り禁止とする。館内の利用は表示に従うこと。

大 会 日 程

6月15日（水） 大会第1日目

審判打ち合わせ	8 : 3 0 ~ 9 : 0 0
会 場	伊達市総合体育館 メインアリーナ審判席前
出席者	専門委員長、審判長、副審判長、専門委員、審判員、当番学校担当職員

専門委員会	9 : 1 5 ~ 1 0 : 4 5
会 場	伊達市総合体育館 会議室
出席者	専門部長、専門委員長、専門委員、当番学校長および担当職員 次回大会当番学校職員（ 北海 高校 ）

監督会議	1 2 : 3 0 ~ 1 3 : 0 0
会 場	伊達市総合体育館 メインアリーナ
出席者	専門部長、専門委員長 審判長、副審判長、専門委員、当番学校長および担当職員 次回大会当番学校職員、各校監督

開会式 伊達市総合体育館 メインアリーナ	1 3 : 0 0 ~ 1 3 : 1 5
----------------------	-----------------------

個人男子予選1 立ち目（立射）	1 4 : 0 0 ~ 1 4 : 3 5
個人女子予選1 立ち目（立射）	1 4 : 3 5 ~ 1 5 : 1 5
個人男子予選2 立ち目（立射）	1 5 : 1 5 ~ 1 5 : 5 0
個人女子予選2 立ち目（立射）	1 5 : 5 0 ~ 1 6 : 3 0

6月16日（木） 大会第2日目

集 合（審判打ち合わせ：メインアリーナ審判席前）	8 : 1 0
男子個人準決勝・決勝（坐射）	9 : 0 0 ~ 9 : 4 0
女子個人準優勝・決勝（坐射）	9 : 4 0 ~ 1 0 : 2 0
個人表彰式	1 0 : 2 0 ~ 1 0 : 4 0
団体男子1次予選1 立ち目（立射 制限時間7分）	1 0 : 5 0 ~ 1 2 : 3 5
団体女子1次予選1 立ち目（立射 制限時間7分）	1 2 : 3 5 ~ 1 4 : 2 0
団体男子1次予選2 立ち目（立射 制限時間7分）	1 4 : 2 0 ~ 1 6 : 0 5
団体女子1次予選2 立ち目（立射 制限時間7分）	1 6 : 0 5 ~ 1 7 : 5 0
1次予選通過決定競射（立射 予選同順の場合）	1 7 : 5 0 ~ 1 8 : 3 0

6月17日（金） 大会第3日目

集 合（審判打ち合わせ：メインアリーナ審判席前）	8 : 1 0
団体男子2次予選（坐射 制限時間8分）	9 : 0 0 ~ 9 : 4 5
団体女子2次予選（坐射 制限時間8分）	9 : 4 5 ~ 1 0 : 3 0
2次予選通過決定競射（坐射 予選同順の場合）	1 0 : 4 0 ~ 1 1 : 0 0
団体男女決勝トーナメント1回戦（坐射 制限時間8分）	1 1 : 0 0 ~ 1 2 : 2 0
団体男女決勝トーナメント準決勝（坐射 制限時間8分）	1 2 : 2 0 ~ 1 2 : 5 0
団体男女決勝トーナメント決勝戦（坐射 制限時間8分）	1 2 : 5 0 ~ 1 3 : 3 0
団体競技表彰式	1 3 : 4 0 ~ 1 4 : 0 0

会 議 案 内

審判打ち合わせ	会 場	伊達市総合体育館 メインアリーナ審判席前
	期 日	6月15日(水)
	時 間	8:30 ~ 9:00
	出席者	専門委員長、審判長、副審判長、専門委員、審判員、当番学校担当職員
専門委員会	会 場	伊達市総合体育館 会議室
	期 日	6月15日(水)
	時 間	9:15 ~ 10:45
	出席者	専門部長、専門委員長、専門委員、当番学校長および担当職員 次回大会当番学校職員
監督会議	会 場	伊達市総合体育館 メインアリーナ
	期 日	6月15日(水)
	時 間	12:30 ~ 13:00
	出席者	専門部長、専門委員長 審判長、副審判長、専門委員、当番学校長および担当職員 次回大会当番学校職員、各校監督

専門委員会次第

1. 開会の辞
2. 専門部長挨拶
3. 当番学校長挨拶
4. 当番学校職員紹介
5. 次回当番学校職員紹介
6. 議事
 - 1) 日程の確認
 - 2) 大会プログラムの訂正について
 - 3) 競技上の注意について
 - 4) 大会役員・審判について
 - 5) 当番校連絡事項
 - 6) 次回大会支部専門委員報告
 - 7) その他
7. 専門部長挨拶
8. 閉会の辞

監督会議次第

1. 開会の辞
2. 専門部長挨拶
3. 当番学校長挨拶
4. 審判長・副審判長紹介
5. 審判長挨拶
6. 競技日程確認および競技上の注意
7. プログラムの訂正について
8. 選手交代について
9. 当番校からの連絡
10. その他
11. 専門部長挨拶
12. 閉会の辞

競技上の諸注意

- 1 矢つがえ後の筈こぼれした矢は、無効となる。矢つがえ後とは矢をつがえてから妻手を右腰に据えた時とする。個人戦に限り、前立の射手の本弭等によってはじかれた場合は筈こぼれとみなさない。
 - 2 弦切れの場合、4本目を除き、選手は射位に跪坐し、射場進行係が弓を取りに来るのを待つ。弓を渡した後、切れ弦の処理をする。4本目の場合はならいのごとく処理し退場する。原則、替弦は監督が張るものとする。
 - 3 弓を取り落とした場合、射場進行係の指示に従い処理をする。
 - 4 射位にある射手は口頭、またはその他の方法で助言を求め、または受け取ってはならない。射手が本座及び射位で不必要な声を発することや他の射手に対して助言をしてはならない。
 - 5 会場内で不必要な声を発しないこと。観覧者は指定された観覧席から応援し、本大会においては、的中時の「よし」という声援は禁止し、皆中時の拍手のみとする。
 - 6 矢を落し失権となった矢は、他の選手の妨げとならないように拾って自分の右側に送る。
 - 7 的中数は看的の○×？表示で示す。的中数に異議がある場合は、矢を抜く前に監督が射場進行係に申し出る。その後の申し出については受け付けない。
 - 8 競技進行中における行射中止の指示は、的中前における赤旗の掲示と射場内における進行係の指示によって行うので、直ちに行射を中止すること。再開指示は赤旗を撤去、係が指示する。
 - 9 同中競射および射詰の時、競射1本目は替矢とする。この時は一矢射終わったら自分の席に戻る。2本目以降の競射・射詰の矢は、監督に預け一矢ずつ受け取る。競射は一矢射終わるごとに自分の席に戻る。
 - 10 個人競技準決勝で2中（1中）した時、退場口の進行係の指示があった場合は、第2控席に待機する。
 - 11 個人競技決勝の射詰・遠近法による競射の退場は進行係の指示に従うこと。
 - 12 競技場内に第1控を設け、これより先を射場内とする。第3控席で選手監督の確認及びゼッケン服装の確認を行い、第2控席で弓具の点検を行うので競技進行に合わせて集合する。第2控席に移動するまでに集合しない場合は、その立に限り失権とする。
 - 13 第2控席では弓具を置いて待機し、第1控席では弓を立てない。
 - 14 監督は、監督章をつけて替矢・替弦を持参して入場する。
 - 15 計時について、立射は6分30秒、坐射は7分30秒のベルで予告し、立射は7分00秒、坐射は8分00秒の振鈴によってその後の矢を失格とする。振鈴は本部席のストップウォッチを基に行う。
 - 16 矢返しは、射場出口に設置した矢立てで行うので、速やかに回収すること。
- ※ 矢摺り籐の長さが6cm未満のもの、あるいは損傷し、セロテープなどで補修している等の弓は使用しないでください。（弓具点検の際に、競技上危険または目印とみなしうる場合は、ガムテープを貼ることがあります。）

会 場 使 用 上 の お 願 い

1. 伊達市総合体育館の開館時間は8：00です。選手はそれ以前には入館できませんので注意してください。
2. 選手控室は、メインアリーナ2階観覧席及びカルチャーセンター講堂です。譲り合ってご利用ください。
なお、2階観覧席や階段付近でゴム弓等、音を発するような練習は禁止とします。
3. 控室の利用について、次のことを必ず守ってください。
(ア)総合体育館館内は土足禁止です。靴袋を持参してください。カルチャーセンター講堂は外靴のまま利用できます。
(イ)控室内では、壁面を使って弓を張ることを禁止します。選手同士で肩を貸しあうなどをして弓を張ってください。その他の施設・備品の破損にも注意してください。
(ウ)飲食は、メインアリーナ2階観客席、1階ホールの自動販売機前などの定められた場所、カルチャーセンター講堂をご利用ください。
(エ)巻藁は1階サブアリーナに6台設置してあります。安全に留意してお使いください。巻藁の持ち込みはできません。
(オ)退館時には必ず自分たちの周囲の清掃を行ってください。ただし、ゴミ袋の用意はしませんので、各学校のゴミの処理は各自の責任で行い、ゴミは必ず持ち帰ってください。
なお、業者斡旋の弁当のごみは、指定された場所に時間までに戻してください。
(カ)部旗を張り付けたい場合は観覧席から紐、またはメンディングテープなど施設を傷つけないもので張り付けてください。選手の正面側には張らないようにしてください。(当番校にご相談ください。)
(キ)本大会は新型コロナウイルス感染防止の観点から無観客試合となっています。保護者や一般の応援の方は、メインおよびサブアリーナ（控室）、練習会場に入ることはできません。
(ク)参加各校の監督、介添生徒および各校学校長が認めた（参加申込書に記名された）外部指導者には事前にIDを発行し、当日カードを配付します。大会会場、練習会場、選手控室に入る際にはそれぞれの受付で担当者のチェックを受けてください。選手はゼッケンをもってIDの代わりとします。
4. 盗難防止のため、貴重品の管理は各自で厳重にお願いします。
5. 体育館やカルチャーセンター内の他の施設にみだりに立ち入らぬようお願いします。
また、施設・備品の破損、周囲の迷惑となる行為、危険な行為は厳に慎んでください。
6. 館内の更衣室は1日中使用できます。1、2階ホール廊下等での着替えは慎んでください。また、館内にトイレは男女各3カ所あります。譲り合って使用してください。
7. 応援のマナーに注意し、観客席からの声援・指示などで射手に動揺を与えるような行為は慎んでください。
(別紙参照)
8. 応援席はメインアリーナ2階観客席の定められた場所となっております。譲り合って使用してください。なお、手すりには絶対に寄りかからないようにしてください。
9. フラッシュを使用しての写真撮影は禁止です。
10. 選手、監督（監督代行）以外はメインアリーナ試合会場（射場）に入れません。選手も行射終了後はすみやかに射場内から退去してください。ただし、監督（監督代行）は的中数を確認してから退出してください。
11. 今大会の的は真円的、的紙は裏にビニールの入った的紙を使用します。
12. 個人戦予選は3人立3射場（的間隔1.8m）、個人戦準決勝・決勝は3人立3射場（間隔1.8m）、団体戦は5人立2射場（間隔1.8m）で行います。
13. コロナウイルス対策については、別紙の注意事項を熟読の上、念入りの対応をお願いします。なお、マスク着用について健康上の理由で不都合が生じた場合は、支部の専門委員を通じて、専門部委員長と事務局に別途ご連絡ください。
14. 各校監督・顧問は選手の健康管理の掌握、麻疹・インフルエンザ等への対応もお願いします。
15. 駐車場は、伊達市総合体育館駐車場（本館北側および西側臨時駐車場）を利用してください。またカルチャーセンターを利用する場合は、センターの駐車場を利用できます。なお、駐車場係は配置しません。事故のないように互いに譲り合ってください。バスのご利用は事前に調査させていただきますが、大型バスご利用の学校は伊達市体育館周辺には駐車できません。待機場所としては、館山野球場（伊達市館山町29番地1）の駐車場をご利用ください。マイクロバスについては西側臨時駐車場をご利用ください。
16. プールは貸し切りではなく、一般利用があります。プールには立ち入らないようにしてください。
17. 弓具は原則、会場に置いておくことはできません。

「第68回全道高等学校体育大会弓道競技大会」参加における 個人情報保護および肖像権に関わる取り扱いについて

北海道高等学校体育連盟
第68回北海道高等学校弓道選手権大会当番校
北海道苫小牧東高等学校

令和4年度第68回北海道高等学校弓道選手権大会当番校は、大会参加申込書等を通じて取得される個人情報および肖像権の取り扱いについて以下の通り対応します。

1 参加申込書に記載された個人情報の取扱い

- (1) 大会プログラムに掲載されます。
- (2) 競技会場でアナウンス等により紹介されることがあります。
- (3) 競技会場内外の掲示板・速報・新聞等に掲載されることがあります。

2 競技結果（記録）等の取扱い

- (1) 認められた報道機関等により、新聞・雑誌および関連ホームページ等で公開されることがあります。
- (2) 大会プログラム掲載の個人情報とともに、当番校が作成する大会報告書(以下「報告書」という。)に掲載されます。
- (3) 新記録、優勝および上位入賞結果（記録）等は、次年度以降の大会プログラムに掲載されることがあります。

3 肖像権に関する取扱い

- (1) 認められた報道機関等が撮影した写真が、新聞・雑誌・報告書および関連ホームページ等で公開されることがあります。
- (2) 認められた報道機関等が撮影した映像が中継または録画放送されることがあります。また、DVD等に編集され、配布されることがあります。
- (3) この他、北海道高等学校体育連盟の許可に基づき、記念写真等が販売されることがあります。

4 当番校としての対応について

- (1) 取得した個人情報を上記利用目的以外に使用することはありません。
- (2) 参加申込書の提出により、上記取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして、対応させていただきます。
- (3) 個人情報等の掲載または公開等に関してのご質問は、北海道高等学校体育連盟事務局または当番校事務局までご連絡ください。

連絡先・問い合わせ先

北海道高等学校体育連盟事務局

011-826-3300

第68回北海道高等学校弓道選手権大会当番校事務局

0144-33-4141（北海道苫小牧東高等学校）

立順表 【個人】

◎男子

立順	ゼッケン	学 校 名 (支 部 順 位)
1	101	高校 (釧根支部 3 位)
2	102	高校 (北見支部 1 位)
3	103	高校 (北見支部 6 位)
4	104	高校 (空知支部 2 位)
5	105	高校 (小樽支部 1 位)
6	106	高校 (函館支部 1 位)
7	107	高校 (札幌支部 8 位)
8	108	高校 (小樽支部 2 位)
9	109	高校 (札幌支部 1 位)
10	110	高校 (釧根支部 1 位)
11	111	高校 (室蘭支部 5 位)
12	112	高校 (札幌支部 4 位)
13	113	高校 (札幌支部 12 位)
14	114	高校 (室蘭支部 3 位)
15	115	高校 (十勝支部 1 位)
16	116	高校 (札幌支部 3 位)
17	117	高校 (札幌支部 2 位)
18	118	高校 (函館支部 3 位)
19	119	高校 (名寄支部 1 位)
20	120	高校 (北見支部 4 位)
21	121	高校 (十勝支部 3 位)
22	122	高校 (旭川支部 1 位)
23	123	高校 (札幌支部 11 位)
24	124	高校 (北見支部 7 位)
25	125	高校 (釧根支部 2 位)
26	126	高校 (室蘭支部 1 位)
27	127	高校 (室蘭支部 4 位)
28	128	高校 (空知支部 4 位)
29	129	高校 (札幌支部 10 位)
30	130	高校 (函館支部 2 位)
31	131	高校 (札幌支部 5 位)
32	132	高校 (十勝支部 4 位)
33	133	高校 (空知支部 3 位)
34	134	高校 (北見支部 2 位)
35	135	高校 (北見支部 3 位)
36	136	高校 (十勝支部 2 位)
37	137	高校 (空知支部 1 位)
38	138	高校 (旭川支部 3 位)
39	139	高校 (函館支部 4 位)
40	140	高校 (札幌支部 6 位)
41	141	高校 (室蘭支部 2 位)
42	142	高校 (札幌支部 9 位)
43	143	高校 (北見支部 5 位)
44	144	高校 (札幌支部 7 位)
45	145	高校 (旭川支部 2 位)

◎女子

立順	ゼッケン	学 校 名 (支 部 順 位)
1	101	高校 (北見支部 6 位)
2	102	高校 (空知支部 2 位)
3	103	高校 (函館支部 2 位)
4	104	高校 (旭川支部 5 位)
5	105	高校 (函館支部 5 位)
6	106	高校 (札幌支部 7 位)
7	107	高校 (旭川支部 3 位)
8	108	高校 (札幌支部 11 位)
9	109	高校 (釧根支部 2 位)
10	110	高校 (室蘭支部 4 位)
11	111	高校 (室蘭支部 1 位)
12	112	高校 (釧根支部 1 位)
13	113	高校 (札幌支部 12 位)
14	114	高校 (札幌支部 9 位)
15	115	高校 (空知支部 1 位)
16	116	高校 (室蘭支部 2 位)
17	117	高校 (室蘭支部 5 位)
18	118	高校 (函館支部 3 位)
19	119	高校 (札幌支部 1 位)
20	120	高校 (名寄支部 1 位)
21	121	高校 (函館支部 6 位)
22	122	高校 (空知支部 3 位)
23	123	高校 (北見支部 1 位)
24	124	高校 (札幌支部 10 位)
25	125	高校 (札幌支部 4 位)
26	126	高校 (十勝支部 1 位)
27	127	高校 (小樽支部 1 位)
28	128	高校 (室蘭支部 6 位)
29	129	高校 (室蘭支部 3 位)
30	130	高校 (札幌支部 5 位)
31	131	高校 (北見支部 4 位)
32	132	高校 (札幌支部 6 位)
33	133	高校 (札幌支部 2 位)
34	134	高校 (函館支部 1 位)
35	135	高校 (北見支部 5 位)
36	136	高校 (北見支部 2 位)
37	137	高校 (札幌支部 3 位)
38	138	高校 (十勝支部 3 位)
39	139	高校 (旭川支部 2 位)
40	140	高校 (旭川支部 4 位)
41	141	高校 (十勝支部 4 位)
42	142	高校 (札幌支部 8 位)
43	143	高校 (十勝支部 2 位)
44	144	高校 (北見支部 3 位)
45	145	高校 (小樽支部 2 位)
46	146	高校 (空知支部 4 位)
47	147	高校 (旭川支部 1 位)
48	148	高校 (函館支部 4 位)

立順表【団体】

◎男子

立順	学 校 名 (支 部 順 位)
1	高校 (空知 支部 1位)
2	高校 (釧根 支部 1位)
3	高校 (名寄 支部 1位)
4	高校 (旭川 支部 2位)
5	高校 (北見 支部 1位)
6	高校 (札幌 支部 4位)
7	高校 (室蘭 支部 1位)
8	高校 (空知 支部 2位)
9	高校 (十勝 支部 2位)
10	高校 (旭川 支部 1位)
11	高校 (函館 支部 1位)
12	高校 (北見 支部 4位)
13	高校 (函館 支部 2位)
14	高校 (釧根 支部 2位)
15	高校 (札幌 支部 1位)
16	高校 (室蘭 支部 2位)
17	高校 (北見 支部 3位)
18	高校 (小樽 支部 1位)
19	高校 (室蘭 支部 3位)
20	高校 (札幌 支部 6位)
21	高校 (札幌 支部 2位)
22	高校 (札幌 支部 3位)
23	高校 (札幌 支部 5位)
24	高校 (十勝 支部 1位)
25	高校 (北見 支部 2位)

◎女子

立順	学 校 名 (支 部 順 位)
1	高校 (札幌 支部 6位)
2	高校 (北見 支部 1位)
3	高校 (小樽 支部 1位)
4	高校 (札幌 支部 4位)
5	高校 (釧根 支部 1位)
6	高校 (札幌 支部 1位)
7	高校 (函館 支部 1位)
8	高校 (旭川 支部 1位)
9	高校 (旭川 支部 3位)
10	高校 (室蘭 支部 4位)
11	高校 (十勝 支部 1位)
12	高校 (札幌 支部 3位)
13	高校 (北見 支部 3位)
14	高校 (室蘭 支部 1位)
15	高校 (札幌 支部 5位)
16	高校 (旭川 支部 2位)
17	高校 (札幌 支部 2位)
18	高校 (室蘭 支部 2位)
19	高校 (空知 支部 2位)
20	高校 (室蘭 支部 3位)
21	高校 (北見 支部 2位)
22	高校 (函館 支部 2位)
23	高校 (空知 支部 1位)
24	高校 (名寄 支部 1位)
25	高校 (十勝 支部 2位)

弓道大会 応援・観戦のマナーについて

最近、大会時における応援・観戦について、さまざまな問題が指摘されています。出場選手が日頃の修練の成果をいかんなく発揮できるよう、以下の応援・観戦のマナーを厳守願います。

① 本大会については射場外からの応援は、皆中時の拍手に限られています。

自校のチーム・選手に対する熱心な応援が時として他校のチーム・選手の行射の妨げ・迷惑になる場合があります。最近、奇声とも思えるような応援、長い拍手もあります。周囲に配慮した爽やかな応援を心掛けてください。

②常に、他校のチーム選手に敬意を払った応援をお願いします。

相手チームや選手が外れた時に「よし」と発声したり、相手の失敗を期待するような発声は絶対にやめてください。

③競技の妨げとなるため、射場外からのフラッシュ撮影は禁止されています。

応援・観戦の態度が悪く、再三の注意にもかかわらず、改善の様子が見られない場合、行射を止めざるを得ないこともあります。

勝敗にかかわらず、選手が気持ちよく大会を終えられるよう、各位の特段のご協力をお願い致します。

北海道高体連弓道専門部